

庄司明子さんが山梨県教育功労者表彰を受賞されました！



庄司明子さんが、平成29年度山梨県教育功労者表彰を受けられました。庄司さんは南都留地区初の女性校長として都留文科大附属小学校長を務め、都留文科大の人材を活用した教育を推進し、特色ある学校、開かれた学校づくりに貢献されました。また退職後も山梨県退職女性教師の会理事として、会の運営及び発展に寄与するとともに、女性の地位向上にご尽力されました。庄司さんおめでとうございました。

都留市・日本トレッキング協会共催のトレッキングを開催しました！



10月21日(土)、トレッキングイベントを開催しました。「つる大使」に委嘱された、本市出身のフリーアナウンサーである国井雅比古さんとの縁で、国井さんが会長を務める日本トレッキング協会会員、都留市内のトレッキング愛好家が合同で『今倉一赤岩一二十六夜山コース』のアップीलと、相互の交流を図ることを目的として企画されました。当日はあいにくの雨でしたが国井会長も参加され、下山後には芭蕉月待ちの湯で交流会を開き、堀内市長も参加し、親睦を深めました。また、交流会の最後に日本トレッキング協会より『今倉一赤岩一二十六夜山コース』を日本トレッキング協会認定コースとする準備に入る』との宣言があり、今後とも協力して都留市内のトレッキングルートを整備を行っていくこととなりました。

林 文子横浜市長を表敬訪問してきました！

去る9月21日(木)、堀内市長は、横浜市役所に林市長を表敬訪問いたしました。対談では、大田市出身の小林一美横浜市政策局長も交え、かつては絹織物を介した交流があったこと、富士山の湧水が桂川(相模川)を下り神奈川県や横浜市民の飲み水となっていること、本市の十日市場自治会と横浜市旭区若葉台連合自治会との交流など、本市と横浜市のつながりが深いこと、また、八潮祭りや『道の駅つる』などの観光、本市が進めている『生涯活躍のまちつる』や移住施策など、本市の魅力と施策をPRしてきました。人口370万人と3万人と市の規模には大きな違いはありますが、同じ市政を担っている市長として、人口の多少には関係なく、少子高齢化など直面している課題は同じであることを再認識するとともに、今後とも交流を図っていくことを確認し合い、有意義な時間を過ごすことができました。



都留市の人口

H29.11.1現在
男 15,155人 (-7)
女 15,815人 (+24)
計 30,970人 (+17)
世帯数 13,043世帯(+37)
※()内数字は、前月比

12月の納税

固定資産税(第3期)
国民健康保険税(第6期)
介護保険料(第6期)
後期高齢者医療保険料(第6期)
12月は12月25日(月)までに納付してください。

都留市民憲章

わたくしたち都留市民は
○健康で明るいまちにいたします。
○自然を愛し、美しいまちをつくりまします。
○文化都市にふさわしい豊かなまちを築きます。
○たのしく働き、活気ある産業のまちに育てまします。
○たがいに信じ、協力し、平和なまちをつくりまします。



市内で活躍する「人」・「団体」、市内の「出来事」などにスポットをあて、ご紹介するコーナーです。



長田邦行さんが第29回危険業務従事者叙勲を受け瑞宝双光章を受章！



法能の長田邦行さんが、第29回危険業務従事者叙勲を受け、瑞宝双光章を受章され、その報告が11月7日(火)市長公室において行われました。危険業務従事者叙勲とは、警察、消防、自衛隊など危険性の高い業務で貢献した人を対象として授与されます。長田さんは、昭和44年10月に都留市消防本部消防士を拝命され、平成23年まで41年の長きにわたり勤務し、火災・救急・救助の他、消防団担当や保安担当、消防課長、消防署長(次長)、消防長を務めると共に、後輩の育成などに寄与されました。長田さん、おめでとうございました！今後も市の発展にご協力をお願いします。

谷内美穂さんが1日消防長を務めました！



「園児たちが元気よく「火遊びしません。」「お父さん、寝たばとしないでね。」と呼びかけました。

11月11日(土)健康科学大学看護学部2年生の谷内美穂さんが1日消防長を務めました。谷内さんは、委嘱状を受け取った後、秋の火災予防運動にあわせて、保育園の園児や女性消防隊、都留市消防団、都留危険物安全協会の方と一緒に防火パレードに参加しました。また午後には、カインズスーパーセンター都留店で、住宅用火災警報器の設置啓発活動としてリーフレットの配布を行いました。



第20回 科学工作展で最優秀賞(山梨県知事賞)を受賞しました！

山梨県立科学館において第20回科学工作展が開催され、都留少年少女発明クラブに所属する東桂中学校2年藤江遼さんの作品「ミニ水力発電機 元気くん」が中学校の部で最優秀賞に選ばれました。市長への報告会で藤江さんは「木材を正確に切ることが大変だった。学んだ知識をいかして納得のいく作品を作ることができてよかった。今後は、もっと物づくりに関する知識を深めていきたい。また、リーダーとして他のクラブ員の人たちにアドバイスをしていきたい。」と抱負を語ってくれました。今後も未来を担う子どもたちの活躍に期待しています！おめでとうございました。

